

# “世界中をおなかから健康に”を実現するための戦略検討

会社名 野村乳業株式会社  
 所在地 広島県安芸郡府中町鶴江2-12-27  
 従業員 23名  
 資本金 1,000万円  
 売上高 4億6,000万円(2023年3月期)  
 業 種 植物乳酸菌発酵飲料、乳酸菌及び発酵原料等の製造販売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

### Before

- 自社通販事業の売上改善・立て直しに際して、事業戦略やブランディング戦略の見直しを行う必要性が生じていた。
- 新商品開発も進めている中で、知財面から手当てすべき事項についても習得しておく必要があった。

## 支援を受けてできるようになったこと

### After

- ブランディングに際して必要な検討事項を理解し、ブランドコンセプトの見直し等を図りながらECサイトリニューアルを進めることができた。
- 新商品開発に際して侵害予防調査の重要性を認識するとともに、組織として営業秘密管理を進めることの重要性も理解して体制構築を進めることができた。

## 今後の事業展開の展望

### Future

- ブランドコンセプトの発信とCRM活動等による顧客の声の収集を進めながら、商品開発と売上増加に向けた活動を進めていく。
- 営業秘密管理体制を組織全体へと浸透させていく。

## 加速的支援を受けた事業や商材



「世界中をおなかから健康に」という社会的使命を掲げ、自社が強みとする植物乳酸菌発酵技術を活用した商品開発・販売を手掛けている。増殖が難しいとされていた植物乳酸菌について、大学との共同研究を通じて技術開発を行い、特許権も取得している。

こうした技術を活用し、「マイ・フローラ」ブランドとして商品開発及び販売を行っている。ユーザーの多くが効果を実感できる「実感力」にこだわりを持っており、主に飲料やサプリメントを中心に展開している。



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

| 取り組んだ課題                   | 課題に取り組んだ背景・理由                                              |
|---------------------------|------------------------------------------------------------|
| 事業戦略の点検                   | 植物乳酸菌飲料事業の成長を加速するために、ビジネスモデルや事業戦略等を点検し、取組課題を抽出することが急務であった。 |
| ブランディング、マーケティング戦略の検討      | 事業戦略を踏まえて、顧客獲得につなげるための各種施策を検討し、実行へ移していくことが必要であった。          |
| 知財戦略の検討                   | 新商品開発にも取り組んでいる中で、事業戦略に資する知財手当を検討しておくことが必要であった。             |
| 契約や知財、開発体制等に関するケイパビリティの強化 | 社外パートナーとの協業体制等を整備していくにあたり、契約や営業秘密管理をはじめとした組織体制の強化が必要であった。  |

## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



| 支援を受けた事項                  | 支援を通じてできるようになったこと                                                                                                                                                                 | 活用専門家                     |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 事業戦略の点検                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社が定めていた活動計画について協議を行い、優先順位を付けて具体的なアクションプランを作成することができた。</li><li>・ 新商品の上市までのToDo事項を整理し、スケジュールを具体化して上市へと進めることができた。</li></ul>                 | 弁理士<br>中小企業診断士            |
| ブランディング、マーケティング戦略の検討      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ブランディングに関する助言を受け、顧客インサイトを探ることの重要性を理解するとともに、ブランドコンセプトの見直しを行うことができた。</li><li>・ また、顧客アンケートの分析等を行いながら、自社ECサイトの見せ方についても再検討を行うことができた。</li></ul> | 弁理士<br>中小企業診断士<br>ブランド専門家 |
| 知財戦略の検討                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新商品開発に際して、侵害予防調査の重要性を理解した上で対応することができた。</li><li>・ ブランド体系の整理とあわせて、商標登録の重要性を理解し、出願に向けてアクションを進めることができた。</li></ul>                             | 弁理士                       |
| 契約や知財、開発体制等に関するケイパビリティの強化 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 営業秘密管理の重要性を理解し、その実践に向けた作業へと着手することができた。</li><li>・ 今後の効率的な商品開発を見据え、CRM部署の設置に向けた準備を進めることができた。</li></ul>                                      | 弁理士、INPIT<br>知財戦略EX       |

## 支援チーム紹介

主担当専門家:弁理士 坪内寛  
活用専門家:中小企業診断士、ブランド専門家、知財戦略EX  
知財総合支援窓口担当者:広島県知財総合支援窓口 柳下加寿子  
PO(プログラムオフィサー):喜多克己